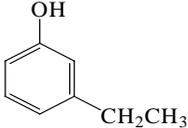
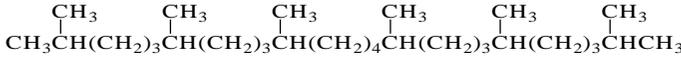
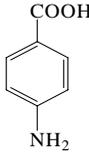
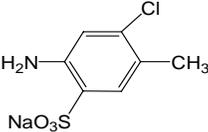
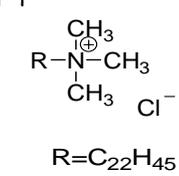
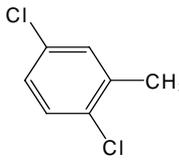
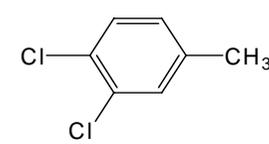
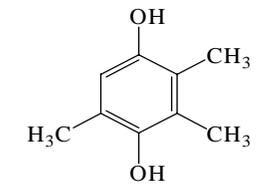
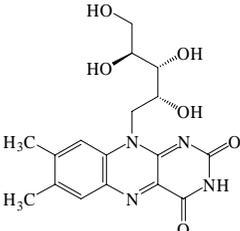
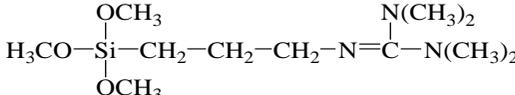
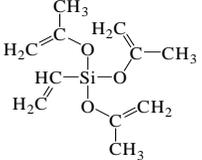
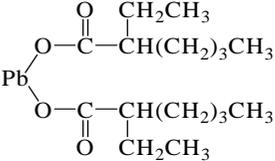
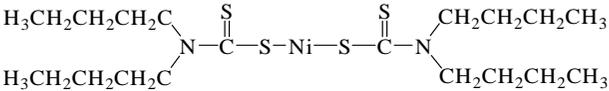
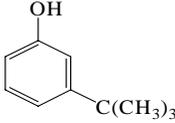
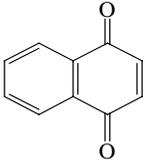
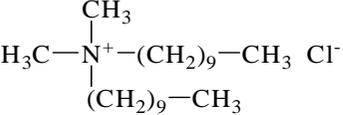


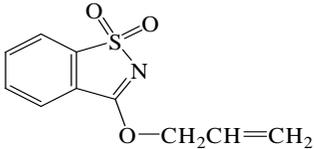
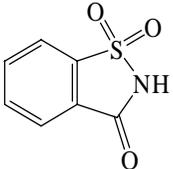
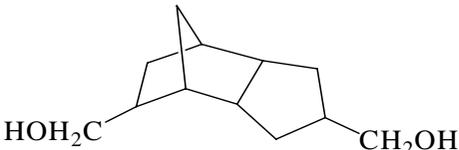
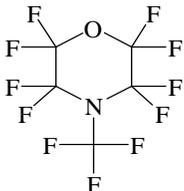
平成19年10月 既存化学物質点検（分解・蓄積）結果資料 〈第68回審査部会〉

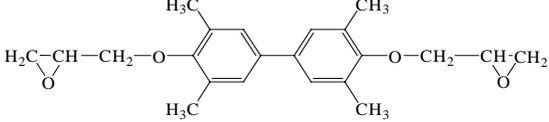
K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1140B	<i>m</i> -エチルフェノール (620-17-7) 3-0500 4-0057 	BOD : 93, 92, 91 (92) TOC : 98, 98, 99 (98) HPLC: 100, 100, 100 (100)	—	—	良分解性	なし	1
1184C	アルカン酸 (C=4~30) (イソオクタデカン酸) (2724-58-5, 30399-84-9) 2-0608 (CH ₃) ₂ CH—(CH ₂) ₁₄ —COOH	BOD : 68, 66, 68 (68) HPLC: 93, 91, 95 (93) 変化物(トリデカンアルデヒド、ペンタデカンアルデヒド及びヘプタデカンアルデヒド)が微量検出された。HPLCクロマトグラム上の保持時間から、これらの変化物は被験物質より極性が高いと推定された。	—	—	良分解性	なし	3
1781	2, 6, 10, 15, 19, 23-ヘキサメチルテトラコサン (111-01-3) 9-0762 9-1317 	BOD : 34, 36, 37 (36) G C : 49, 48, 56 (51) 逆転条件 (参考データ) BOD : 68, 69, 56 (64) G C : 85, 94, 92 (90)	—	—	良分解性	なし	5
1786	<i>p</i> -アミノ安息香酸 (150-13-0) 3-1454 	BOD : 84, 84, 77 (82) TOC : 99, 99, 100 (100) HPLC: 100, 100, 100 (100)	—	—	良分解性	なし	7
143B	4-アミノ-2-クロロトルエン-5-スルホン酸ナトリウム (6627-59-4) 3-2024 	BOD : 0, 0, 2 (1) HPLC : -2, -1, -1 (0)*1	-2.24*2		難分解性	濃縮度試験	9

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
663C	ドコシルトリメチルアンモニウムクロライド (17301-53-0) 2-0184  R=C ₂₂ H ₄₅	BOD : -5, -5, -6 (0)*1 HPLC : 1, 0, 3 (1)	-		難分解性	濃縮度試験	10
1201C	2, 5-ジクロロトルエン (19398-61-9) 3-0078 	BOD : 0, 0 (0) G C : -2, -5 (0) Closed bottle法	3.83*2		難分解性	濃縮度試験	12
1201D	3, 4-ジクロロトルエン (95-75-0) 3-0078 	BOD : 0, 0 (0) G C : -3, 1 (1) Closed bottle法	3.83*2		難分解性	濃縮度試験	14
1373B	1-ブロモペンタン (110-53-2) 2-0067 Br(CH ₂) ₄ CH ₃	BOD : 39, 36, 34 (36) G C : 51, 47, 47 (48) 被験物質の一部は加水分解し、生成した1-ペンタノールは分解した。	3.14*2		難分解性	分配係数試験	16
1775	2, 3, 5-トリメチルヒドロキノン (700-13-0) 3-0552 	BOD : -6, -6, -7 (0)*1 TOC : -4, -3, -5 (0)*1 HPLC: 100, 100, 100(100) 被験物質は全て消失し、大部分は被験物質の二量体 (2-(2,5-ジヒドロキシ-3,4,6-トリメチルフェニル)-3,5,6-トリメチル-1,4-ベンゾキノン、log Kow=4.33*2) に変化して残留し、微量不明変化物2種類を確認した。HPLCクロマトグラム上の保持時間から、これらの変化物は被験物質より極性が低いと推定された。	1.71 (pH3.1) (プラスコ振とう法) 2.67*2		難分解性	変化物 (2-(2,5-ジヒドロキシ-3,4,6-トリメチルフェニル)-3,5,6-トリメチル-1,4-ベンゾキノン) の標品の入手が困難であるため、変化物のHPLC法による分配係数試験*3から検討	18

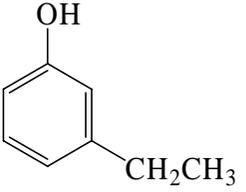
K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1778	7, 8-ジメチル-10-(D-リボ-2, 3, 4, 5-テトラヒドロキシペンチル)-イソアロキサジン (83-88-5) 9-2282 	BOD : 19, 18, 20 (19) HPLC: 100, 100, 100(100) 被験物質は消失し、7,8-ジメチルアロキサジンを生成し残留した。	-1.05*2		難分解性	変化物 (7,8-ジメチルアロキサジン) による分配係数試験	20
1791	1, 1, 3, 3-テトラメチル-2-[3-(トリメトキシシリル)プロピル]グアニジン (69709-01-9) 2-3341 	BOD : 22, 22, 23 (22) TOC : 21, 22, 22 (22) 被験物質は試験液中で速やかに加水分解するため、被験物質分解度は算出不可。 被験物質は消失し、生成したメタノールは微生物により分解され、1,1,3,3-テトラメチル-2-[3-(トリヒドロキシシリル)プロピル]グアニジン (log Kow=-1.94*2) が生成し、残留した。	-0.25*2		難分解性	変化物 (1,1,3,3-テトラメチル-2-[3-(トリヒドロキシシリル)プロピル]グアニジン) による分配係数試験	21
1792	トリ (イソプロペニルオキシ) ビニルシラン (15332-99-7) 2-3197 	BOD : 71, 67, 67 (68) G C : 100, 100, 100(100) 被験物質は試験液中で速やかに加水分解するため、被験物質分解度は算出不可。 被験物質は消失し、生成したアセトンは微生物により分解され、トリヒドロキシビニルシラン (log Kow=-2.01*2) が生成し残留した。	4.8 (HPLC法) 2.39*2		難分解性	変化物 (トリヒドロキシビニルシラン) による分配係数試験	23
1798B	1-キシリル-1, 3-ジフェニルブタン (74921-47-4) 4-0071 	BOD : 0, 0, 0 (0) G C : 1, 1, 1 (1)	7.86*2		難分解性	濃縮度試験	26

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ()内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1807	2-エチルヘキサン酸鉛塩 (301-08-6) 2-0615 	BOD : 102, 101, 94 (99) 被験物質は試験液中で速やかに加水分解するため、被験物質分解度は算出不可。 被験物質の有機部分は微生物により分解されたが、形態不明の無機の不溶性鉛が残留した。	有機金属のため適用外		難分解性	不溶性鉛の構造推定	27
1808	ビス(ジブチルジチオカルバミン酸)ニッケル (13927-77-0) 2-1247 	BOD : 3, 4, 2 (3) HPLC: -2, -1, -4 (0)*1	有機金属のため適用外		難分解性	濃縮度試験	29
81B	3-tert-ブチルフェノール (585-34-2) 3-0503 	BOD : 0, 0, 0 (0) TOC : 0, 0, 0 (0) HPLC: 0, 0, 0 (0)	2.6 (HPLC法) 3.42*2	分配係数から類推	難分解性 高濃縮性ではない	なし	31
606	1,4-ナフトキノン (130-15-4) 4-0372 	BOD : -7, -6, -8 (0)*1 TOC : 49, 50, 48 (49) HPLC: 90, 93, 87 (90) (汚泥+被験物質)系において被験物質の大部分は変化したが、生成率1%以上の変化物は検出されなかった。定性分析の結果、被験物質の2~3量体程度の分子量の構造不明変化物が4種類及び分子量不明の高分子化した変化物が確認された。また、有機溶媒に不溶な変化物が認められ、より高分子化した変化物と推定された。	1.77 (フラスコ振とう法) 1.66*2	分配係数から類推	難分解性 高濃縮性ではない	なし	34
663B	ジデシルジメチルアンモニウムクロリド (7173-51-5) 2-0184 	BOD : -3, -2, -2 (0)*1 LC-MS: 0, -1, -1 (0)*1	-	定常状態における濃縮倍率 1区: 63倍 ばく露期間における濃縮倍率 1区: 54~180倍 2区: 47~95倍 脂質含有率 開始前: 3.75% 終了後: 5.79%	難分解性 高濃縮性ではない	なし	37

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 (内は既判定)	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1613	3-アリロキシ-1,2-ベンゾイソチアゾール-1,1-ジオキソド (27605-76-1) 5-3433 	審議済 (難分解性) (平成14年5月29日) BOD : 29, 24, 24 (26) TOC : 28, 28, 30 (29) HPLC: 100, 100, 100(100) 被験物質は変化して、1,2-ベンゾイソチアゾール-3(2H)-オン=1,1-ジオキソドを生成し、残留した。	2.86 ^{*2}	1,2-ベンゾイソチアゾール-3(2H)-オン=1,1-ジオキソドから類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	40
1613変	1,2-ベンゾイソチアゾール-3(2H)-オン=1,1-ジオキソド (81-07-2) 5-0198 	—	<0.3 (pH1.7) (HPLC法) 0.45 ^{*2}	分配係数から類推	高濃縮性ではない	なし	42
1705	ジメチロールトリシクロデカン (26896-48-0) 4-0641 	審議済 (難分解性) (平成16年6月18日) BOD : 2, 1, 1 (1) GC : 19, 22, 15 (19) (汚泥+被験物質)系において、被験物質は一部変化して、メチロールトリシクロデカンアルデヒド(2~7%生成, log Kow = 1.48 ^{*2})及びメチロールトリシクロデカン酸(12~15%生成, log Kow = 1.73 ^{*2})を生成し、残留した。また、被験物質の log Kow = 1.91 ^{*2} から、メチロールトリシクロデカンアルデヒドとメチロールトリシクロデカン酸は被験物質より極性が高いと推定される。	1.2~2.1 (加重平均値 = 1.8) (HPLC法) 2.32 ^{*2}	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	45
1738	ペルフルオロ-N-メチルモルホリン (382-28-5) 5-3790 	審議済 (難分解性) (平成18年7月21日) BOD : -4, -6 (0) ^{*1} GC : 2, -1 (0) Closed bottle法	> 3.93 ^{*4}	定常状態における濃縮倍率 1区:240倍 2区:200倍 脂質含有率 開始前 2.43% 終了後 4.55%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	47

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 (内は既判定)	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1790	4, 4'-ビス(2, 3-エポキシプロポキシ)-3, 3', 5, 5'- テトラメチルビフェニル (85954-11-6) 4-1522 	BOD: -3, -3, -5 (0)*1 HPLC: 1, 2, 1 (2) 被験物質の一部が変化し(エポキシ 環の開環)、変化物が2種類生成 し、約1%残留した。HPLCクロマトグ ラム上の保持時間から、これらの変 化物は被験物質より極性が高いと推 定される。	4.0 (HPLC法) 5.19*2	ばく露期間における濃縮倍率 1区: 2.6倍以下 2区: 27倍以下 脂質含有率 開始前: 3.45% 終了後: 2.02%	難分解性 高濃縮性で はない	なし	50

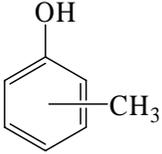
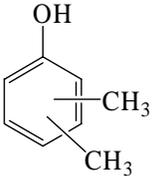
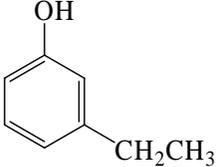
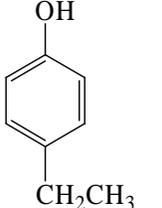
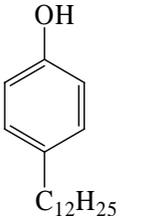
- *1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。
- *2 Kowwin v1.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値
- *3 分解度試験終了後の試験液を試験サンプルとして使用する。
- *4 フラスコ振とう法による予備値

整理番号 K-1140B		分解度試験	分解度試験	分解度試験
(NEDO 360, 3-0500, 4-0057)		事業対象年度 平成18年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
m-エチルフェノール (620-17-7)		試験期間 18.10. 3~19. 2. 2	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
		試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₈ H ₁₀ O 分子量 122.16		試験濃度	試験濃度	試験濃度
		被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
		汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
		本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
		試験結果 間接 BOD 93, 92, 91 (92)%	試験結果 間接	試験結果 間接
		直接 TOC 98, 98, 99 (98)% HPLC 100, 100, 100 (100)%	試験結果 直接	試験結果 直接
純度*1 96.2% (GC)	外観 無色透明液体			
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 3.8%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 8.16 g/L (25°C) 対メタノール 10 g/L 以上	審査部会 第 68 回 19年10月26日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 -4°C		判定	判定	判定
沸点*2 218.4°C	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 2.40*2	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。	備考	備考
比重*1 d ₂₀ ²⁰ 1.0139				
LD50	安定性	2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構		
IRチャートの有無 (有) ・ 無				
用途*3 中間物、接着剤、有機化学品用(その他)、希釈剤、添加剤(その他)				
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 100~1,000 t 未満				
試料 購入先 東京化成工業				
経済産業公報発表年月日	年 月 日			

*1 東京化成工業添付資料による。 *2 The Physical Properties Database(Syracuse Research Corporation)による。

*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K-1140Bの類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
クレゾール (1319-77-3)		3-0499 (K-112)	標準(2W) 1975年実施 BOD 51, 49 (50) TOC 70, 68 (69) G C 70, 72 (71)	良分解性 (1975)	/	/	/	/
キシレノール (1300-71-6)		3-0521 (K-145)	標準(2W) 1976年実施 BOD 44, 44 (44) TOC 50, 47 (49) G C 62, 60 (61)	良分解性 (1976)	/	/	/	/
m-エチルフェノール (620-17-7)		3-0500 4-0057 (K-1140B)	標準(4W) 2006年実施 BOD 93, 92, 91 (92) TOC 98, 98, 99 (98) HPLC 100, 100, 100 (100)					
p-エチルフェノール (123-07-9)		3-0500 (K-1140)	標準(2W) 1994年実施 BOD 90, 89, 90 (90) TOC 100, 98, 99 (99) HPLC 100, 100, 100 (100)	良分解性 (1994)	/	/	/	/
4-ドデシルフェノール異性体混合物 (27193-86-8)		3-0511 (K-1666)	標準(4W) 2002年実施 BOD -5, -5, -4 (0)*1 HPLC 11, 10, 8 (10)	難分解性 (2002)	7.46*2	0.198 (96hr)	2004年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(1 µg/L) : 690 2区(0.1 µg/L) : 550 脂質含有率 開始前 2.95% 終了後 5.13%	高濃縮性 ではない (2004)

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v 1.67による計算値。

整理番号 K-1184C (NEDO 350, 2-0608)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
アルカン酸 (C=4~30) (イソオクタデカン酸)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日
(2724-58-5, 30399-84-9)	試験期間 18.10.25~18.12.20	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状	試験濃度	試験濃度	試験濃度
(CH ₃) ₂ CH—(CH ₂) ₁₄ —COOH	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 68, 66, 68 (68)% 直接 HPLC 93, 91, 95 (93)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度* ¹ 88.87%	外観 微黄色透明液体		
不純物* ¹ (物質名, 含有率) 残り 11.13%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 10 mg/L 以下 (25℃)	審査部会 第 68 回 19年10月26日開催	審査部会 第 回 年月日開催
融点* ² 7℃		判定	判定
沸点* ² 190℃	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 7.87* ³	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 104% (汚泥+被験物質)系 96% 2. 実施機関 ・株式会社 JCL バイオアッセイ 3. 特記事項 ・LC-MSにより被験物質は異性体混合物であった。ピーク5本の合計で定量を行った。 4. 参考 ・被験物質は5~8%残留し、変化物(トリデカンアルデヒド(log Kow = 5.16* ³)ペンタデカンアルデヒド(log Kow = 6.14*)及びヘプタデカンアルデヒド(log Kow = 7.13* ³))が検出されたが、生成率は各々1%未満であった。	
密度* ² 0.89 g/cm ³ (25℃)			
LD ₅₀ * ² >2,000mg/kg(oral, rat)	安定性		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途* ⁴ 写真・複写機用添加剤			
生産量* ⁴ (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t 未満			
試料 購入先			
経済産業公報発表年月日	年月日		

*1 HPLC 法による。 *2 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000) による。

*3 Kowwin v 1.67 による計算値。 *4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K - 1 1 8 4 C の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
ギ酸 (64-18-6)	$\text{HC}-\text{OH}$ \parallel O	2-0670 (K-1099)	標準(2W) 1993年実施 BOD 108, 113, 110(110) TOC 100, 100, 100(100) HPLC 100, 100, 100(100)	良分解性 (1993)				
酢酸 (64-19-7)	$\text{CH}_3\text{C}-\text{OH}$ \parallel O	2-0688 (K-1101)	標準(2W) 1993年実施 BOD 71, 75, 76 (74) TOC 100, 100, 100(100) HPLC 100, 100, 100(100)	良分解性 (1993)				
2 - エチル酪酸 (88-09-5)	CH_2CH_3 $\text{CH}_3\text{CH}_2\text{CH}-\text{OH}$ \parallel O	2-0608 (K-1184B)	標準(2W) 2000年実施 BOD 93, 97, 88 (93) TOC 96, 96, 96 (96) HPLC 100, 100, 100(100)	良分解性 (2000)				
イソオクタデカン酸 (2724-58-5)	$(\text{CH}_3)_2\text{CH}-\text{(CH}_2\text{)}_{14}-\text{C}-\text{OH}$ \parallel O	2-0608 (K-1184C)	標準(4W) 2006年実施 BOD 68, 66, 68 (68) HPLC 93, 91, 95 (93)					
ドコサン酸 (112-85-6)	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{20}\text{C}-\text{OH}$ \parallel O	2-0608 (K-1184)	標準(4W) 1997年実施 BOD 48, 56, 52 (52) G C 67, 80, 73 (73) 逆転(4W) (参考データ) G C 95, 94, 95 (95)	良分解性 (1997)				
22 - トリコセン酸 (65119-95-1)	$\text{CH}_2=\text{CH}(\text{CH}_2)_{20}\text{C}-\text{OH}$ \parallel O	2-0609 (K-1094)	標準(4W) 1994年実施 BOD 96, 91, 91 (93) G C 100, 100, 100(100)	良分解性 (1994)				